

福田 平名誉教授略年譜

大正一二年(一九二三)

一月 四日 福田正記(弁護士)、同ミキ(医師)の三男として東京市麴町区(現、東京都千代田区)にて出生

一〇月

東京帝国大学法学部法律学科入学

昭和一八年(一九四三)

一二月

臨時召集(学徒動員)により陸軍に入隊

昭和五年(一九三〇)

四月

東京市番町尋常小学校入学

昭和二〇年(一九四五)

八月

陸軍主計少尉

九月

召集解除、東京帝国大学法学部に復学

昭和一一年(一九三六)

三月

同右卒業

四月

東京府立第一中学校入学

昭和二二年(一九四七)

三月

東京帝国大学法学部法律学科卒業

四月

同右大学院特別研究生

一二月

高等試験司法科試験合格

昭和一五年(一九四〇)

三月

同右四年修了

四月

府立高等学校文科乙類入学

昭和二四年(一九四九)

四月

専修大学法学部非常勤講師(昭和二五年三月まで)

昭和一七年(一九四二)

九月

同右卒業

昭和五年(一九五〇)

五月 神戸大学法学部助教

昭和二十七年(一九五二)

四月 大阪市立大学法学部非常勤講師(昭和二十八年三月まで)

昭和三十一年(一九五六)

四月 名古屋大学法学部非常勤講師(昭和三十三年三月まで)

九月 フンボルト留学生として西ドイツに出張。ボン大学、ハンス・ヴェルツェル教授のもとに

留学

昭和三十三年(一九五八)

四月 神戸大学法学部教授

一〇月 西ドイツより帰国

昭和三十五年(一九六〇)

五月 日本刑法学会理事(現在に至る。うち昭和四四年から六〇年まで常任理事)

昭和三十七年(一九六二)

三月 「違法性の錯誤」により、法学博士の学位を

受く(東京大学)

昭和三十八年(一九六三)

七月 法制審議会幹事(昭和四五年九月まで)

昭和三十九年(一九六四)

四月 東京教育大学文学部併任教授(昭和四〇年三月まで)

昭和四〇年(一九六五)

四月 東京教育大学文学部教授

神戸大学法学部非常勤講師(昭和四六年三月まで)

昭和四二年(一九六六)

三月 不動産鑑定士試験第一次試験試験委員(昭和四五年一二月まで)

昭和四二年(一九六七)

四月 帝京大学法学部非常勤講師(昭和四六年三月まで)

昭和四三年(一九六八)

一月 司法試験(第二次試験) 審査委員に併任(昭和

和五〇年二月まで、昭和五五年一月以降現  
在に至る)

め西ドイツに出張  
法学政治学視学委員(現在に至る)

昭和四四年(一九六九)

昭和四七年(一九七二)

三月 学術審議会専門委員(昭和四六年一二月ま  
で)

四月 東京教育大学文学部非常勤講師(昭和四八年  
三月まで)

四月 駒沢大学法学部非常勤講師(昭和五一年三月  
まで)

昭和四八年(一九七三)

五月 一橋大学法学部併任教授(昭和五五年三月ま  
で)

四月 一橋大学評議員(同年九月まで)

一橋大学法学部併任教授(昭和四五年三月ま  
で)

五月 法制審議会刑事法部会委員(昭和六一年七月  
まで)

昭和四五年(一九七〇)

四月 一橋大学法学部教授

七月 大学設置審議会専門委員(昭和五五年三月ま  
で)

学習院大学法学部非常勤講師(昭和四六年三  
月まで)

九月 刑法学研究のため、西ドイツに出張(九月二  
八日から二月二八日まで)

六月 東京教育大学文学部併任教授(昭和四七年三  
月まで)

日本医事法学会理事(昭和四四年まで)

九月 法制審議会刑事法特別部会委員

昭和四九年(一九七四)

五月 一橋大学評議員(昭和五〇年三月まで)

昭和四六年(一九七一)

四月 一橋大学評議員(昭和四八年三月まで)

昭和五〇年(一九七五)

慶応義塾大学法学部非常勤講師(昭和五三年  
三月まで、昭和五五年四月以降現在に至る)

三月 中央労働委員会委員(昭和五三年九月まで)

九日から五月二三日まで、刑法改正視察のた  
ま

昭和五一年(一九七六)

九月 筑波大学非常勤講師(昭和五二年三月まで)

昭和五二年(一九七七)

九月 法制審議会監獄法改正部会委員

昭和五三年(一九七八)

五月 一橋大学法学部長、評議員(昭和五五年四月まで)

昭和五五年(一九八〇)

二月 第二東京弁護士会懲戒委員会委員(昭和五九年一月まで)

昭和五六年(一九八一)

五月 欧米における刑法の最近の動向についての調査研究のため、ヨーロッパ、アメリカに出張(五月二二日から七月二二日まで)

昭和五八年(一九八三)

二月 学術審議会専門委員(昭和六〇年一月まで)

昭和六〇年(一九八五)

三月 中央労働委員会委員(現在に至る)

四月 刑法学研究のため西ドイツに出張(三月一九日から六月二四日まで)

四月 ケルン大学(西ドイツ)より名誉法学博士の学位を受く

昭和六一年(一九八六)

七月 法制審議会委員(現在に至る)

昭和六二年(一九八七)

三月 定年により一橋大学を退官  
四月 一橋大学名誉教授  
東海大学法学部教授(現在に至る)  
一橋大学法学部非常勤講師(現在に至る)